海上の森に関する　要望書

第２回世界自然保護会議　海上の森の保全について　勧告
　2000 年 10 月

緊急集会「市民からの環境万博への緊急提案」で
市民参加を確保し海上の森南地区を守る提言のための宣言文を採択
　2000 年 4 月 2 日

海上の森の保全と国営公園化を求める決議を採択
　2000 年 3 月 17 日

海上の森の保全と国営公園化を求める決議
　2000 年 3 月 4 日
　通商産業大臣、建設大臣、環境庁長官、愛知県知事、
　（財）2005 年日本国際博覧会協会会長宛
　財団法人日本野鳥の会　第２４回評議員会

愛知県瀬戸市海上の森の保全に関する再度の要望書
　2000 年 2 月 4 日
　愛知県知事宛
　（財）日本自然保護協会、（財）世界自然保護基金日本委員会と連名

PRESS RELEASE

2000 年 9 月 19 日
（財）日本自然保護協会
（財）世界自然保護基金日本委員会
（財）日本野鳥の会

海上の森の保全に関する勧告案、世界自然保護会議の議題に

10 月 4～11 日にアンマンで開催される国際自然保護連合（ＩＵＣＮ）の世界自然保護会議に、海上の森の保全に関する勧告案がとり上げられることが決定しました。この勧告案は、ＩＵＣＮのＮＧＯ会員 7 団体が提起したもので、博覧会国際事務局（ＢＩＥ）に対して、愛知万博が環境に配慮した万博となるよう、ひきつづき日本政府にアドバイスすることを求め、また日本政府に対し海上の森の保全策を具体的に講じることを求める内容です。

この勧告案は、すでに本年 2 月に国内の NGO が提出した決議案を、ＩＵＣＮ決議委員会が、⑴海上の森の住宅・道路事業の中止、⑵市民参加に愛知万博検討会議による海上の森の会場計画の大幅縮小といった、愛知万博に関する日本政府側の保全のための努力とＢＩＥの指導性を評価する内容に修正したものです。その上で、愛知万博に関する一層の環境への配慮を求める内容となっています。

愛知万博検討会議に代表が参加している（財）日本自然保護協会、（財）世界自然保護基金日本委員会、（財）日本野鳥の会の３団体は、この決議を通じ、愛知青少年公園等海上の森以外の会場の環境影響評価や交通アクセスなどの残された検討課題について、今後も市民への情報公開と意志決定への参加を通じ、愛知万博全体が環境に配慮したものとなり、世界の国々に認められるよう、日本政府の一層の努力を求めるものです。

ＩＵＣＮは、1948 年にフランスで設立され、現在スイスに本部を置く、世界最大の自然保護の連合体（国家会員 76、政府機関 111、ＮＧＯ732）です。日本からは、１７のＮＧＯと環境庁・日本政府が会員になっています。世界自然保護会議は、ＩＵＣＮ総会をかねて、３年に一度開かれ、国際的な自然保護問題を議論します。今年は 10 月 4-11 日にヨルダンの首都アンマンで開催され、会員団体のほか国連環境計画、ユネスコなど世界の自然保護関係者、2000 人以上が集まる予定です。このほか、日本に関しては、ヤンバルクイナ・ノグチゲラ・ジュゴンの保護に関する勧告案が審議される予定です。

・＜勧告　日本語版＞
・＜勧告　オリジナル（英語）版＞
・第 2 回世界自然保護会議決議案　海上の森の保全について　2000.2.15

第２回世界自然保護会議 勧告
2000 年 10 月 4-11 日 ヨルダン・アンマン

CGR.CNV017. 海上の森の保全について

1997 年のＢＩＥ総会において、日本政府が「自然の叡知」をテーマとする環境万博とすることを表明して、2005 年国際博覧会の開催国と認められたことを想起し、 2005 年国際博覧会会場の予定地である愛知県名古屋市近くの海上の森が、1999 年に日本国際博覧会協会から発表された環境影響評価書によって、環境庁のレッドリストに含まれる希少種を含む生物多様性のホットスポットであることが、明らかにされたことを認識し、 日本政府が、2005 年国際博覧会の会場予定地の海上の森において、危機に瀕した湿地植物群落や絶滅のおそれのあるオオタカの保護のために、３度にわたって会場の位置を変更し、住宅計画・道路計画を中止したことを評価し、 また日本政府が、1994 年に策定した環境基本計画や、1995 年に策定した生物多様性保全国家戦略において、里地自然における計画的な生物の生息地の確保をめざしていることを評価し、ＢＩＥが、2005 年日本国際博覧会が、環境に配慮した万博として成功を収めるよう、イニシアチブを発揮していることを歓迎し、 世界自然保護会議は､2000 年 10 月 4-11 日にヨルダンのアンマンで開かれた第２回大会において、

１．ＢＩＥが、2005 年に日本国愛知県で開催される国際博覧会が、環境に配慮した万博となるよう、日本政府に対して引き続き適切なアドバイスを行うことを求める

２．日本政府が、海上の森の自然を将来にわたって保全するため、国営里山公園の設置を含む具体的な措置を講じることを求める

決議案提出団体　（財）日本自然保護協会
（財）世界自然保護基金日本委員会
（財）日本野鳥の会
エルザ自然保護の会
（ＮＰＯ）野生動物救護獣医師協会
（財）トトロのふるさと財団
日本雁を保護する会

Recommendation for the Second World Conservation Congress
Amman, Jordan, 4-11 October 2000
CGR.CNV017. Conservation of the Kaisho Forest, Japan

AWARE that at the 1997 General Assembly of Bureau International des Expositions (BIE), the Government of Japan proposed an environmentally conscious exposition with a theme of "Beyond Development - Rediscovering Nature's Wisdom" and Japan was chosen as the host nation of the 2005 World Exposition;

RECOGNIZING that an environmental impact assessment published in 1999 by the Japan Association for the 2005 World Exposition revelaed the Kaisho Forest, which is proposed site for the Exposition located near Nagoya City in Aichi, to be a hotspot of biodiversity that includes endangered species listed in Red Data Books published by Environment Agency of Japan;

ACKNOWLEDGING the efforts by the Government of Japan that have changed the Exposition site location three times and their withdrawal of an urban development and road construction for the purpose of protecting the threatened wetland vegetation and endangered Goshawk, which are found in the Kaisho Forest;

ACKNOWLEDGING ALSO the Government of Japan's commitment to secure habitat of plants and animals in countryside ecosystem as stipulated in the Basic Environment Plan of 1994 and the National Strategy for Biodiversity Conservation in 1995;

WELCOMING the lead taken by the Bureau International des Expositions to take an initiative to lead the 2005 World Exposition, to achieve the best outcome as an environmentally conscious exposition;

The World Conservation Congress at its second Session in Amman,Jordan, 4 -11 October 2000:

1. CALLS ON the Bureau International des Expositions to continue to provide pertinent advice to the Government of Japan so that the 2005 World Exposition, to be held in Aichi Prefectur, Japan succeds as an environmentally conscious exposition;

2. URGES the Government of Japan to take concrete actions, including establishing a National Countryside Park, so that the Kaisho Forest is conserved for the future.

Sponsored by:
The Nature Conservation Society of Japan (NACS-J)
World Wide Fund for Nature - Japan (WWFJ)
Wild Bird Society of Japan
Elsa Nature Conservancy
Wildlife Rescue Veterinarian Association of Japan
Totoro Fund
Japanese Association for Wild Geese Protection

PRESS RELEASE

2000 年 2 月 15 日（火）正午発表
（財）日本自然保護協会
（財）世界自然保護基金日本委員会
（財）日本野鳥の会

海上の森の保全を求める第２回世界自然保護会議決議案の提出について

2 月 15 日正午、日本自然保護協会、世界自然保護基金日本委員会、日本野鳥の会は、国際自然保護連合（IUCN：本部スイス・グラン）のマリッタ・コクベイザー事務局長あてに、2005 年に愛知県瀬戸市他で開催が予定されている国際博覧会に関して、海上の森（かいしょのもり）の保全を求める第２回世界自然保護会議決議案を提出しました。

３団体は、2 月 4 日に愛知県知事あてに、新住宅市街地開発事業・都市計画道路を縮小ではなく中止し、将来にわたって海上の森を保全するため国営公園化を検討することを求めた要望書を提出しました。その際に、根本的な見直しが行われない場合には、第２回世界自然保護会議に決議案を提出することを伝えました。

本日午前、通産大臣、愛知県知事が相次いで会見を行いましたが、住宅計画・道路計画の中止を含む博覧会計画の根本的な見直しには到っていないことから、IUCN に対して予定どおり決議案を提出することにしたものです。

IUCN は、1948 年にフランスで設立され、現在スイスに本部を置く、世界最大の自然保護の連合体（国家会員 76、政府機関 111、NGO732）です。日本からは、上記の３団体を含む 17 の NGO と環境庁・日本政府が会員になっています。世界自然保護会議は、IUCN 総会をかねて、3 年に一度開かれ、国際的な自然保護問題を議論します。今年は 10 月 4-11 日にヨルダンの首都アンマンで開催され、会員団体のほか国連環境計画、ユネスコなど世界の自然保護関係者、2000 人以上が集まる予定です。

2000.4.2　緊急集会「市民からの環境万博への緊急提案」で
市民参加を確保し海上の森南地区を守る提言のための宣言文を採択

2000 年４月２日（日）、（財）日本野鳥の会・（財）日本自然保護協会・（財）世界自然保護基金日本委員会・国営瀬戸海上の森里山公園構想をすすめる連絡会は、海上の森と愛知万博に関わる環境 NGO、住民団体に呼びかけて、瀬戸市民会館にて緊急集会「市民からの環境万博への緊急提案」を開催し、市民参加を確保し南地区を守る提言のための宣言文を採択しました。

愛知万博の会場計画の見直しについては、１月の中日報道以来、めまぐるしく情勢が変化してきましたが、私たち在京の環境 NGO３団体は、３月 17 日に愛知県知事、３月 27 日に通産大臣それぞれからの要請に応じて代表者が面会し、事業者側による愛知万博計画の抜本的な見直しと、市民との協議を訴えてきました。

しかし、この週末になって、愛知県などが、海上の森南地区 10ha を会場として使うという構想を市民との合意を経ないまま公表しようとしている動きが察知されてきました。こうした、結論をいきなり押しつけるやり方は、「環境万博」の名にふさわしいものとは言えません。

当日は呼びかけに応えて集まった愛知県内の環境 NGO のメンバーや地元の上之山地区の住民の方々等約 30 名により、３時間にわたって、緊迫した状況の打開策について意見を交換し、自由な討議を行いました。最後に宣言文を一同で検討し、採択しました。

緊急集会の内容

・在京３団体からの緊急経過報告
・海上の森南地区－吉田川流域の自然は守れるか？
・４つの環境 NGO からの新提案：「海上の森西地区案」の検討
・緊急宣言採択

緊急集会「環境万博　市民からの緊急提案」宣言文

海上の森に計画された国際博覧会は、これまで95年に東海丘陵特有の植物群落を避けて会場を縮小するとともに、「自然の叡知」をテーマとした環境万博に計画変更され、さらに99年には希少猛禽類であるオオタカの繁殖をきっかけに、青少年公園地区を含む会場計画に変更されました。そして今年、国際博覧会事務局（BIE）の批判が明らかになったことをきっかけに、３回目の計画変更が行われようとしています。

しかしこれまでの計画変更は、環境万博をうたいながらも、環境NGOの意見を聞くことなく、行政内部で検討がすすめられ、突然に発表されるという経緯を経てきました。環境NGOとの対話が不十分であったことをBIEに指摘された上での新しい万博計画は、今までのようなやり方ではなく、環境万博にふさわしい合意形成のプロセスを経て、決められるべきであると考えます。

本日、緊急集会「環境万博　市民からの緊急提案」に集った、私たち環境団体、地元市民は、以下のように宣言します。

1．海上地区における新住事業や都市計画道路は、「休止」や「凍結」ではなく、「中止」にすることを求める。
2．環境万博にふさわしい会場計画とするならば、関係者が対等の立場で協議する場を設けることを提案する。
3．海上南地区のある吉田川渓谷は、サンコウチョウ・サンショウクイ等の野鳥、ゲンジボタル等の昆虫などにとって非常に重要な生息地であり、これを守ってゆく必要がある。

２０００年４月２日

緊急集会「環境万博　市民からの緊急提案」参加者一同

海上の森の保全と国営公園化を求める決議を採択

（財）日本野鳥の会（会長　黒田長久　会員数５万５千人）は、愛知県瀬戸市海上の森の保全と国 営公園化を求める決議文を、３月１６日、通産省、建設省、環境庁、日本国際博覧会協会に、また、３月１７日、愛知県に提出しました。

この決議は、３月４日に開催された（財）日本野鳥の会第２４回評議員会にて採択されたものです。決議 では、愛知万博が”自然の叡智”のテーマにふさわしい博覧会となるよう自然環境の保全に万全を尽くし、 跡地では住宅開発を行わずに国営公園として末永く保全することを求めています。また、このことが日本野 鳥の会会員一同の強い願望であるとし、この実現について関係機関に要望しています。

（財）日本野鳥の会評議員会は、年に一回開催され、会員の代表者４０名と、研究者・ジャーナリストなどの有識者２９名の計６９名で構成されます。本年度の評議員会は３月４日、東京都渋谷区内で開催されました。

海上の森の保全と国営公園化を求める決議

２００５年に日本国際博覧会の開催が予定されている愛知県瀬戸市海上の森は、オオタカ、サンショウク イ、サンコウチョウをはじめとする多くの野鳥が生息し、シデコブシやギフチョウなどの稀少種を含む多様 な生物の棲む自然環境を保っており、日本人の心のふるさとともいえる里山のなかでも第一級の場所であ る。

愛知万博が“自然の叡智”のテーマにふさわしい博覧会となるよう自然環境の保全に万全を尽くし、跡地 利用については、住宅の建設などは行わず、この豊かな自然を守り伝えることが、真の意味で人のためだと 考える。このため海上の森を国営公園として末永く保全してもらいたい。

このことは、地元愛知県支部会員はもとより、本会会員一同の強い願望であり、海外の団体からも強く指 摘のあるところである。　私たちはこの実現について、改めて決意するとともに、この際、関係機関に強く 要望するものである。

以上、決議する。

以　上

２０００年3月４日
財団法人日本野鳥の会
第２４回評議員会

２０００年3月１６日

通商産業大臣　深谷　隆司　様
建設大臣　　中山　正暉　様
環境庁長官　　清水　嘉代子　様
(財)2005 年日本国際博覧会協会
会長　豊田　章一郎　様

２０００年3月１７日

愛知県知事　　神田　真秋　様

財団法人　日本野鳥の会
会長　黒田　長久

海上の森の保全と国営公園化を求める要望書

拝啓　時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて本会は、2005 年国際博覧会の会場予定地であります愛知県瀬戸市の「海上の森」に関して、生物学的のみならず、社会的にもたいへん貴重であることに鑑みて、その一体的な保全をたびたびお願いしてきたところです。このほど開催いたしました第２４回評議員会にて、最近の国内世論、国際的な自然保護団体や機関の意見をふまえ、本会の総意として別紙の決議を採択いたしました。ここに貴職にお知らせすると共に、改めて、この実現を要望するものです。

新しい世紀を迎え、環境を中心に考える時代の流れを見据えて、世界から祝福される博覧会を開催するために、悔いのない選択をされるようお願いいたします。

敬具

通商産業大臣　深谷隆司　様
建設大臣　中山正暉　様
環境庁長官　清水嘉代子　様
愛知県知事　神田真秋　様
（財）2005年日本国際博覧会協会　会長　豊田章一郎　様

海上の森の保全と国営公園化を求める決議

拝啓　時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

２００５年に日本国際博覧会の開催が予定されている愛知県瀬戸市海上の森は、オオタカ、サンショウクイ、サンコウチョウをはじめとする多くの野鳥が生息し、シデコブシやギフチョウなどの稀少種を含む多様な生物の棲む自然環境を保っており、日本人の心のふるさととともいえる里山のなかでも第一級の場所である。

愛知万博が“自然の叡智”のテーマにふさわしい博覧会となるよう自然環境の保全に万全を尽くし、跡地利用については、住宅の建設などは行わず、この豊かな自然を守り伝えることが、真の意味で人のためだと考える。このため海上の森を国営公園として末永く保全してもらいたい。

このことは、地元愛知県支部会員はもとより、本会会員一同の強い願望であり、海外の団体からも強く指摘のあるところである。

私たちはこの実現について、改めて決意するとともに、この際、関係機関に強く要望するものである。

以上、決議する。

以上

２０００年3月４日

財団法人日本野鳥の会
第２４回評議員会

２０００年2月４日

愛知県知事　神田真秋　殿

（財）日本自然保護協会
会長 沼田　眞
（財）日本野鳥の会
会長　黒田　長久
（財）世界自然保護基金日本委員会
会長　大内照之

愛知県瀬戸市海上の森の保全に関する再度の要望書

2005 年日本国際博覧会の開催が予定されている、愛知県瀬戸市海上の森の保全に関して、（財）日本自然保護協会、（財）日本野鳥の会、（財）世界自然保護基金日本委員会の 3 団体は、新住宅市街地開発事業・都市計画道路を中止し、その自然環境と共に生きてきた先人の歴史をふりかえって、海上の森を国営公園として保全し、将来にわたってこの自然を守り育てることを改めて決意し、本日ここに以下のように申し入れます。

１．新住宅市街地開発事業ならびに都市計画道路の建設は、海上の森の豊かな自然にとりかえしのつかないダメージをあたえるものであり、単なる面積や住宅規模の縮小案では、問題解決にならない。BIE に指摘を受けたのを機会に、根本的な見直しを行うべきである。

２．すでに 3 団体は、昨年の 8 月 31 日にこれに対する代替案として、海上の森を国営公園として保全するという案を県知事あてに提案しているが、現在にいたるまでこの提案に対する知事からの回答を得ていない。跡地利用計画を再検討するのであれば、国営公園案について真剣に検討すべきである。

３．世界の期待する環境に配慮した国際博覧会が行われないような危惧が残る場合は、3 団体の意志を国際社会に明確に伝えるため、10 月にヨルダンで開催される IUCN 総会（第 2 回世界自然保護会議）に決議案を提出する予定である。

ＩＵＣＮとは？

資料１．ＩＵＣＮ（国際自然保護連合）とは？

ＩＵＣＮ-The World Conservation Union（国際自然保護連合）は、1948 年にパリのフォンテーヌブローで設立された、民間の自然保護団体と、政府および自然保護に関する政府機関の連合体です。これまで、生物多様性の保全と、自然資源の持続的な利用を目標として、これまでレッドデータブックの発行、世界環境保全戦略の立案、ラムサール条約・ワシントン条約・世界遺産条約・生物多様性条約の推進などにかかわってきました。

ＩＵＣＮは、次のような組織からなっています・・・

■会長　－ ヨランダ・カカバゼ（エクアドル環境大臣）
■副会長－ 堂本暁子（日本国参議院議員）
■事務局長－ マリッタ・コクベイザー（元世界銀行役員）
■会員
国家会員　74 （米国、英国、中国、日本など）
政府機関 105 （米国環境保護庁、日本国環境庁など）
ＮＧＯ　700 （WWF インターナショナル 、バードライフインターナショナル、グリーンピース、シェラクラブ等）
■委員会
世界保護地域委員会（WCPA）
委員長　Ａ．フィリップス（英国田園地域委員会元委員長）
種の保存委員会（SSC）　委員長　Ｄ．ブラケット（カナダ野生生物局）
環境教育コミュニケーション委員会（CEC）
環境法委員会（CEL）
生態系管理委員会（CEM）
環境経済政策委員会（CEEP）

＊以上の６つの委員会に所属する専門家は全世界で約 8000 人
■事務局－ 本部：スイス・グラン
このほか世界の 40 地域に地域事務所を持ち職員数は 820 人
■日本では日本政府、環境庁および 17 の NGO（NACS-J、WWF-J、日本野鳥の会、日本自然保護協会など）が会員となっています。

資料２．世界自然保護会議（ＩＵＣＮ総会）大会決議とは？

ＩＵＣＮは、1948 年にパリのフォンテーヌブローで第１回総会を開いて以来、約３年ごとに総会（General Assembly）を開いている。1997 年にカナダのモントリオールで開かれた第 21 回総会からは、世界自然保護会議（World Conservation Congress）と名称を変えて、生物種の保存、生態系の保全、国立公園と保護地域、環境教育、環境経済、環境政策、国際法など、さまざまな自然保護問題を話し合ってきた。会議におけるディベートの結果は、大会決議（Resolution and Recommendation）という形で発表される。

■第 2 回世界自然保護会議（第 22 回 IUCN 総会）

2000 年 10 月 4 日から 11 日まで、ヨルダンの首都、アンマンにおいて開催される。IUCN の国家会員、政府機関会員、NGO 会員のほか、世界保護地域委員会などの専門家委員、ユネスコ、国連環境計画、世界銀行などの国際機関の代表など、約 2000 人が参加する会議となる予定。開会式には、ヨルダンのアブドラ王および IUCN のパトロンでもありバードライフインターナショナルの総裁でもあるノア女王も出席が予定されている。

■世界自然保護会議（IUCN 総会）大会決議

これまで日本に関係した IUCN 総会大会決議としては、以下の例がある。

第 18 回総会（コスタリカ　1988）　　白保サンゴ礁の保護（空港建設問題）
第 19 回総会（オーストラリア　1990）　白保サンゴ礁の保護（空港建設問題）
第 20 回総会（アルゼンチン　1994）　商業捕鯨、南極海クジラサンクチュアリ、
　　カカドゥ国立公園ウラニウム採掘
第 21 回総会（モントリオール　1997）　アマミノクロウサギ（ゴルフ場問題）

世界自然保護会議における大会決議の採択は、コンセンサスまたは投票によって採否を決定する。投票になった場合、政府は２票、NGO は１票を有しているが、合計票数は、圧倒的に NGO が多い。

大会決議が採択された場合、IUCN は決議をフォローアップするために、関係国政府・政府機関に事態の改善を求める書簡を送付する。これまでの例では、白保サンゴ礁に関して、大会決議にもとづき、IUCN から書簡が届き、二度にわたって空港の位置が変更された。

第 2 回世界自然保護会議には、2006 年冬季オリンピック（スロバキア）に関する決議案も提出される予定。なお国内的な保護問題の決議案の提出期限は 2 月 15 日となっている。